

# こく めい こ 克明の子

学校通信  
令和6年(2024年)6月3日  
発行) 校長 吉川有美子



## 150周年記念の集い～思いを新たに～

5月27日、待ちに待った克明小学校の150周年記念行事の日がやってきました。オープニングは6年生の太鼓演奏「屋台囃子」。力強い太鼓の音で、華やかにスタートしました。

会場の立て看板(保健委員会)、150周年の横断幕(給食委員会)、壁飾り(6年生)は全部子どもたちが作り、準備したものでした。図書委員会による「克明小150年の歩み」の解説がついた映像と、計画委員会の「そうなんだ!」と、ためになる「克明クイズ」は観覧している皆を楽しませてくれました。

日本を代表するピアニスト西村由紀江さんによるピアノ演奏は、集いに花を添え、演奏だけでなく子どもたちが参加できる楽しいプログラムもご用意され、身近な音クイズやボディーパーカッションもあり、子どもたちも大喜びでした。子どもたちが「ドレミ」に繋げていった不思議なメロディーを、西村さんのアレンジにかかって名曲になったのには驚きました。「ぼかぼかの歌」と「校歌」を西村さんの伴奏で歌ったことは忘れられない思い出ですね。

校長の式辞で、これからの子どもたちに次のメッセージを送りました。「みんなが大人になって活躍する2040年、2050年は今よりもっといろいろな新しいこと新しいものが生まれていることでしょう。それまでに、みんなには、いくつになっても、「自分を磨く」ことができる人になってほしいです。「自分を磨く」とは、「学ぶ姿勢を持つ、学び続ける」ということです。それから、仲間とともに悩み、仲間とともに喜ぶことができる、そういうことができる人になってほしいです。」

克明小学校の学校教育目標「みんなで ぼかぼか だれもが安心できる 学校 & まちづくり」には、人との出会いから自分を見つめ、自分を磨き、仲間とつながり、仲間とともに夢を持つ、そして差別のない社会をつくり、よりよく生きようとする、そんな「ぼかぼかな子ども」に育ててほしい、そんな願いが込められています。これからを生きる子どもたちが、「自分の幸福だけでなく、どうしたらみんなが幸福に生きられるか」を考えることができる大人になるように、学校と家庭と地域とで子どもたちを育ててまいりましょう。



給食委員会のみんなが作成。ぼかぼかの木ができてます。

6年生の作品。色使いが華やかです。

保健委員会のみんなが作成しました。文字の個性がいいですね



オープニングの太鼓演奏。「屋台囃子」

西村由紀江さんの演奏。ピアノの音がきらきらしていましたね。

西村さんの伴奏で、ぼかぼかの歌を元気にうたいました。



### 【校章について】

たちばなの5枚の花弁の中に、カタカナの「ト」を4つおいた豊中市の市章、そのまん中に「克明」の「克」の文字を置いています。たちばなの葉は常緑で、たちばな花のように薫り高く、いつまでも元気で伸びていく人間になってほしいという願いが込められています。



【学校の名前について】中国の「書経」という古い書物にある「克明俊徳」(克く俊徳を明らかにす)という言葉からとったそうです。「先人の優れた道をよく勉強していろいろなことが分かるようになる」という意味です。